

各位

会社名 桂川電機株式会社
 代表者名 取締役社長 渡邊正禮
 (JASDAQ コード番号 : 6416)

問合せ先
 役職・氏名 取締役業務 太田 譲 二
 管理本部長
 電話 03-3758-0181

平成27年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ

1. 連結業績予想値と実績値との差異について

平成26年5月20日に公表しました平成27年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

平成27年3月期 第2四半期 (累計) 連結業績予想値と実績値との差異 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,500	50	60	20	1.31
実績値 (B)	5,649	95	142	2	0.17
増減額 (B-A)	149	45	82	△ 17	—
増減率 (%)	2.7	90.0	136.8	△ 86.7	—
ご参考：前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	5,846	84	325	294	19.22

2. 差異発生の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、欧州市場を除く世界各市場での販売は堅調に推移し、前回予想の55億円を2.7%上回る56億49百万円となりました。

営業利益は、売上高の増加もありましたが経費削減効果等により、前回予想の50百万円から95百万円の利益となりました。経常利益は、為替差益30百万円を計上したことにより、前回予想の60百万円から1億42百万円の利益となりましたが、四半期純利益は、前回予想の20百万円から2百万円の利益に留まりました。

3. 通期の業績予想について

日本経済は、景気回復策などの効果により、緩やかな回復傾向に進むことが期待されますが、海外経済は先行き不透明であり、販売面において欧州市場は事業環境の厳しい状況が続くと見込まれます。

このような状況の下、当社グループでは、新製品の開発に力を入れ、グループでの企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

現段階におきましては、今後の受注状況、世界経済や為替の動向など、依然として先行き不透明な要素も多いことから、現段階におきましては平成26年5月20日公表の予想数値を据え置いております。

なお、今後の動向により業績に大きな影響を及ぼす場合には、開示基準に従って速やかに開示いたします。

4. 営業外収益の発生について

(1) 営業外収益(為替差益) 発生の概要

当社は、第1四半期連結累計期間において、営業外費用に為替差損1億52百万円を計上しておりましたが、第2四半期連結累計期間では、円安による為替相場の変動により営業外収益に 為替差益30百万円 を計上いたします。なお、当該為替差益は平成27年3月期第2四半期末時点での為替相場による換算差額であり、平成27年3月期の決算におきましては、期末日の時価により為替差益の額は変動いたします。

(2) 業績への影響

上記につきましては、本日開示の「平成27年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)」に織り込み済みであります。

(業績予想に関する留意事項)

上記の通期の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。